

"#みんなで皆野"を支える仲間たち

皆野町 地域おこし協力隊



目次

01		はじめに	02
02		「地域おこし協力隊」とは	03
03		隊員紹介	
		東 廉太郎	05
		出沼 惟代	07
		宇佐川 拓郎	09
		沼子 静煌	11
		中嶋 仁	13
		宇田川 翔	17
		岩佐 泉希	15
		藤野 磨緒	19
		平野 愛里	21
		及川 博渡	23
		四井 綾子	24
		太田 絵美	25
04		デジタルラボминаの	26
05		協力隊の活動	27
06		協力隊活動の軌跡	29



はじめに

皆野町では、令和元年度から地域おこし協力隊制度を活用したまちづくりを進めてきました。これまでの歩みを振り返ると、当初は募集してもなかなか人が集まらない時期がありました。その中で、初めて3年の任期を全うし、地域で事業を起こしてくれた隊員が現れ、その顔のつながりから、少しずつ仲間が増えていきました。今では、隊員同士や顔のつながりで、新たな仲間が集まる段階にきています。ここに至るまで、私たちは何年も試行錯誤を重ねてきました。種まきを経て小さな芽が芽吹き、いよいよ成長の局面です。

皆野町に集まってくれた隊員の皆さんが着実に成果をあげ、地域に変化が生まれ、活動が重なり合い、新たなシナジーが生まれていく段階に入ってきていると感じています。

これからは、隊員の活動が町民の皆さんを巻き込みながら、具体的な成果へと結びつけていく、まさに一番大事な時期です。ここまで積み重ねてきた歩みを大切にしながら、隊員の皆さんの活動を町全体で支え関わっていくことが必要です。

もちろん、任期中に具体的な成果をあげることを期待されます。一方で、協力隊の活動は、短期間で完結するものではなく、人と人が関係を築きながら、少しずつ広げていく取り組みでもあります。私は、隊員一人ひとりの直接の成果、いわば「見える成果」に加えて、人のつながりが広がっていくことや、地域外からの刺激をきっかけに、まちづくりが「自分事」として動き出していく、そうして「育まれる成果」こそが、まちづくりを進める力になると考えています。

最終的に目指しているのは、地域が主体的に行動し活動が次につながっていく姿です。主役は、町民の皆さん一人ひとりです。そして地域おこし協力隊の皆さんも、この町の当事者として、町を動かしていく大切な主役の一人です。

この冊子を手にとっていただいた皆様には、こうした動きを温かく受け止め、関わりながら、歩みを共にしていただける存在であってほしいと願っています。

皆野町長 黒澤 栄則

「地域おこし協力隊」とは



制度概要

どんな制度なの？

地域おこし協力隊は、都市地域から過疎地域などの条件不利地域に住民票を異動し、地域ブランドや地場製品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組です。

活動経費は？

地域おこし協力隊の活動経費は、国から「特別交付税」として市町村に措置され、所属する市町村を通じて協力隊へ支払われます。

皆野町に何人いる？

令和8年2月現在、皆野町には12人の地域おこし協力隊がいます。

地域おこし協力隊導入の効果

～地域おこし協力隊・地域・地方公共団体の「三方よし」の取り組み～

地域おこし協力隊

- 自身の才能・能力を活かした活動
- 理想とする暮らしや生きがいの発見

地域

- 斬新な視点(ヨソモノ・ワカモノ)
- 協力隊の熱意と行動力が地域に大きな刺激を与える

地方公共団体

- 行政にはできなかった柔軟な地域おこし策
- 住民が増えることによる地域の活性化

資料：総務省

外部人材の活用に関する皆野町の方針

方針

まちづくりの合言葉「#みんなで皆野」の実現のためには、町、町民、町内事業者だけではなく、多様な人材の参画が必須です。町外からの目線だからこそ気付ける皆野町の強みや弱点、良さやポテンシャルを各々の得意分野に結び付け、町民の幸せの向上や町の将来のために活躍してもらえる人材を積極的に活用していきます。

地域の魅力発掘、こどもの居場所づくり、移住促進、ジビエの利活用、観光の活性化、地域のデジタル化支援など、予算を計上した各分野において隊員が積極的な活動を展開できるように取り組みます。

考え方

当町にあっては、人口減少・少子高齢化により、いわゆる「地域活動の担い手」の減少が懸念されています。また、家族の形態や生活様式、就業スタイルも変化し、住民ニーズが多様化しています。例えば、現役世代の減少による地域イベントの担い手不足、核家族化や共働き世帯の増加によるこどもの居場所の減少、デジタル化や新しい働き方への対応、後継者不足による就農者の減少や地元商店の継承問題などがあげられます。

いずれも行政的な課題として捉えられますが、町の人的・財政的資源は有限であり、すべてのニーズに町だけで対応することは困難です。一方で、これらの課題には住民による取組や、皆野町を想い応援する外部人材による活動でもアプローチが可能な面もあります。

こうした課題に対し、得意分野や強みを生かして独自の目線からアプローチできる立ち位置として、地域おこし協力隊や地域活性化起業人、集落支援員が必要です。町だけでは担いきれない課題に対し、町職員より自由度を持ちつつも町と連携しながら、住民を巻き込み、住民目線や民間目線でも取り組めると考えています。

なお、国でも地域おこし協力隊の積極的な活用を推進しており、国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」においては、令和5年度時点の7,200人から、令和8年度までに1万人とする目標を掲げています。なお地域おこし協力隊の活動に係る委託料、活動経費、募集経費は国費で措置されています。

以上のように、独自の目線で、得意分野を活かして皆野町に協力してもらえ、かつ財源が措置されるような人材は、町民の幸せの向上や行政機能向上のためにも今後も積極的に活用していきます。



協力隊のリーダー



あずま

東

れんたろう

廉太郎

【コミュニティづくり・地域の魅力発掘】

生年月日

1986年12月30日

出身

アメリカ・横浜

前職

半導体メーカー営業

愛称

レンタロー

趣味・特技

ギター・デザイン

マイブーム

自転車と寅さん

皆野町に来た経緯

34歳の夏。10年間勤めていた会社を辞め、日本漫遊の旅に出ました。旅も中盤に差し掛かり、偶然、皆野町に住んでいた友人の家で過ごすうちに、町のゆったりとした空気感や陽射しの美しさを見て「小さいけれど幸せだと感じる瞬間がそこかしこにある」と感じました。町の人と交流していくなかで、旅を辞めてでもこの町に住みたいと思ったのがきっかけです。今新たに訪れている人達にもその感覚をもった人が皆野町に魅かれてきていると感じます。



経歴

アメリカ生まれ。オーストラリアとイギリスで育ち、高校からは日本に本帰国しました。慶應義塾大学では社会デザインを研究し、卒業後は半導体製造装置メーカーの海外営業として10年間勤務。退職後「もっと日本の景色を見たい知りたい」と思い、車を使って日本全国を1年半ほど回っていました。旅の中で得た「暮らしを知る」ことこそが地域のファンを作る事に肝要だと考えています。

皆野町の好きな所

皆野町は「ありのままの自分でいられる町」だと思います。東京と違い、無理に自分を取り繕う必要もなく、本来の自分に返れる町です。また観光地のように「何かがあるか」といわれるとそうでもないし、「何もない」というほど田舎でもない、「ちょうどいい」があります。言葉が好きなので、金子兜太や秩父音頭などの文化的側面も好きです。文化も今後大切にしたいテーマだと考えます。



皆野高校のサポート

令和6年度から学校運営協議会の一員として皆野高校で取り組んできました。生徒達の「やりたい」を実現する為、自分の夢を書き出して発表する授業や、文化祭、体育祭、観光プロジェクトのサポートをしました。今では皆高生達が地域おこし主催のみなFESや餅つき大会に自らボランティアしに来てくれる程です。閉校まで彼らと伴走していきます！

秩父音頭まつりを盛り上げました！

秩父音頭まつりの新たな賑わいの場を創出するため、「みんなのあの頃」をテーマに「皆野タイムスリップ横丁」を企画しました。大学生60名が9店舗を開店し、矢尾百貨店の「エンゼル焼き」を復刻、おこうしんのお母さんが「焼きそば」を焼いたり、地域と協力してまつりを盛り上げました。



活動内容

町民に一言

ローカルだからこそ、出来ることがある！！

大学生と町民の関係づくり

町と協定を結んでいる「世界一周大学」や「ものづくり大学」をはじめとした大学生達と一緒に地域活動をしています。誰でも参加でき、皆で鍋を囲みながら井戸端会議をする「おあがんべ」もインターンの学生が考案し、実行までサポートしました。また地域の体育大会や、皆野高校のプロジェクトにも大学生と活動しています。地域内外が交流できる場や機会を作っています。



課題・悩み

- 地域の課題や、少数の声を丁寧に汲み取る「対話の場・機会」が不足している
- 地域の底力を高め、外貨を取り込む仕組みが十分に整っていない（特に、来訪者向けの宿泊施設の不足）

今後の展望・目標

- ゲストハウス「みんなの居場所」：地域内外が自然に交流できるコミュニティ拠点を整備し、交流人口の増加と、外貨獲得の仕組みづくりを行う。
- フリマ・マルシェの開催：町民の「得意」「やってみたい」を形にし、挑戦・販売・発信できる機会の創出する。
- 既存資源のPR・再編集：俳句、美の山、秩父音頭など、皆野町が持つ文化的・自然的資産を活かし、新しい切り口で伝えることで町の魅力を再発見・発信する。
- 町民一人ひとりが「皆野町が好き」と心から言えるまち。どの世代でも、自分らしく、ありのままでいられる居場所がある。その為に、地域内外の力を掛けあわせ、町の課題や需要に向きあい、持続可能な仕組みを目指す。

人生にゆとりを！



でぬま いよ
出沼 惟代

【コミュニティづくり・地域の魅力発掘】

生年月日	1994年11月11日
出身	東京都
前職	YouTuber
愛称	いよ
趣味・特技	片付け、DIY
マイブーム	リサイクルショップ巡り



皆野町に来た経緯

秩父には、キャンプや神社巡りなどの観光で10年ほど通っていました。

令和4年から秩父市の親戚宅に住み、皆野町民の方の一言と、去年のまちおこし万博をきっかけに、理想の田舎暮らしとコミュニティづくりができると感じ皆野の協力隊に応募しました。

経歴

中学卒業後は、アルバイトや資格勉強(宅建)に取り組みました。趣味のキャンプやバイクの活動を配信するYouTubeに挑戦し、登録者が20万人になりました。自然の近い暮らしに憧れて秩父市に移住し、秩父の田舎暮らしの魅力をYouTubeで配信しました。



皆野町の好きな所

荒川が流れていること、そしてお神輿文化や盆踊りが地元の墨田と重なり親しみを感じました。でも、地元にはない大自然での川遊びや蛍、星空、味噌ポテト、鮮度抜群な野菜、それから個性豊かな方が沢山いて毎日楽しくて飽きないです。



フリーマーケットの開催

"自らモノを整理し片付け、巡らせる楽しさ"を味わってもらうためにフリーマーケット「くるくるフリマ」を企画しました。町民から集めた物品を10月のふれあいまつりで販売したり、みなFES vol.5では、出店者を募集し、町内外から6組が出店して、実際にモノが巡る場作りを実現できました。なお、売上金に関しては子ども食堂に寄付しました。



片付けサポート部

片付けサポート部は、空き家や空き店舗の利活用を考えている方を中心に、片付けの"最初の一歩"をお手伝いしています。空き家を活用したくても、家の中に物が残っていてすぐに使えないケースは多く、残置物の整理が大きな障壁になっています。片付けは気が重い作業ですが、誰かと一緒に取り組むことで前向きに進められることもあります。人形供養や草刈りなどの気軽なご相談にも対応しております。また、片付け中にへそくりが

見つかるなど、思いがけないサプライズがあることも！楽しみながら取り組める人が増えるよう、今後もサポートしていきたいと思います。



活動内容

日野沢地区との繋がり

町民の方に声をかけていただき、日野沢地区町民体育大会へ参加しました。その後日野沢廃品回収や遊歩道整備に参加。その他に、日野沢大神社の神楽や大山神社の獅子舞なども拝見し、貴重な伝統芸能を撮影、編集しYouTubeに日野沢の魅力を発信しました。

町民に一言

趣味は片付け。
断捨離、お手伝いします♡



課題・悩み



現在、町外の若者を中心に皆野のファンが増え、イベント参加やSNS経由の来訪も広がっています。一方で交流のできる宿泊拠点が不足しているため、気軽に訪れられる場づくりを進め、今後は活用可能な空き家所有者とのつながりを築いていきたいです。

今後の展望・目標

この1年皆野町で活動していく中で、皆野の好きな場所や人、景色、沢山のお気に入りができ、今後の活動拠点となる物件にも出会いました。令和8年3月末で協力隊は退任予定ですが、4月以降は一事業者としてYouTubeを通じた町おこしに取り組み、大好きな皆野町をより一層盛り上げていきたいと思いますので今後ともよろしくお願いします！

うさがわ たくろう 宇佐川 拓郎

【生涯学習の推進・地域の魅力発掘】

生年月日	1990年9月28日
出身	北海道
前職	地域おこし協力隊
愛称	うさびょん
趣味・特技	演劇、舞踊
マイブーム	落語

すべての若者よ大志を抱け

皆野町にきた経緯

前職は、小鹿野町地域おこし協力隊として活動していました。その中で、生涯学習の場作り「みんなの学校」に取り組んでいました。旧校舎や公民館を拠点に、地域の色々な方が自身の趣味や特技に応じた「学びの場」を主宰する支援をしたり、プログラムを作り展開したりしていました。任期満了に伴い進路を考えていた際に、皆野町でもそうした生涯学習の場作りや趣味・特技を軸にした住民の方の人生・地域の生きがい・繋がり作りが求められていると知り、応募をさせていただきました。

皆野町の好きな所

地域毎に特色が異なり、文化が多様なところ。住民の方々が温和で優しく、自然体なところ。古き文化を大切にしながら新しい文化も受け付けるような、寛大で柔軟なところ。

経歴

大学卒業後、東京都で小学校教員を5年間勤務。その後、国外の教育環境に関心を持ち、教育や福祉にも力を入れ「幸福度が高い」北欧のデンマークに留学。現地では、学校教育以上に、成人教育を体験し肌で学ぶ。こうした経験をもとに、地域社会の中で生きがい作りやコミュニティ作りにも寄与する「教育的な活動」がしたいと考えていたところ、縁あって秩父地域と出会う。





みんなのしあわせ図鑑

町民にスポットを当てて、趣味・技術・仕事・まちづくり・思い出・人との繋がりなど、一人ひとりの人生経験や地域での暮らし等を取材し冊子にまとめ、町民に共有していく取組です。10月に駒形区の町民2名を取り上げた創刊号を発刊しました。現時点で700部発行し、配布をしました。今後も町民への取材を進めて定期的に発刊していく予定です。



駒形区ふれあい祭り支援

「駒形区ふれあい祭り」の6年振りの開催をサポートしました。駒形区の方と話し合いながら、室内での催し物として「しあわせ自慢大会～駒形で繋がる広がるみんなの輪～」を企画運営し、特技の披露など町民が活躍できる場を作りました。8名の方と2団体が、特技や活動を披露しました。また、おおよそ50名ほどの方が参加されました。



世代を超えた学びの場づくり

しあわせ図鑑で取り上げた町民の方の「子どもたちへ教えた」という願いと、皆野小学校の「林間学校で踊るフォークダンスの練習を教えてほしい」というニーズを繋げて、5年生の授業の場で、世代を越えた学びの場を作りました。

活動内容

町民に一言

町のこと、昔のこと、ご経験やご趣味、技術やお仕事のことなど、どんなことでも、教えて下さい！



課題・悩み

- 関係性づくりや趣味・特技をもった方の発掘に時間を要し、しあわせ図鑑の定期刊行に至らなかったこと。
- また、関係性づくりや地域の課題把握に時間を要し、世代を超えた「生涯学習の学び合いの場」を定期的にはつくれなかったこと。

今後の展望・目標

- 「みんなのしあわせ図鑑」の隔月発行（地区毎・テーマ毎・仕事に応じて等）
- 生涯学習の学び合いの場作り「みんなの学校」の定期開催（各小学校／行政区毎・公会堂等／総合センター／福祉施設／各事業者と連携）





自分らしく！

ぬまこ せいこう
沼子 静煌

【子どもの居場所づくり】

生年月日	1974年11月13日
出身	東京都豊島区
前職	調剤薬局事務
愛称	セイコー
趣味・特技	打楽器演奏
マイブーム	麻雀



皆野町に来た経緯

都市部は災害に脆弱で、電気が止まっただけで全ての機能が停止してしまいます。田舎を避難所や自給の場として捉えるコミュニティを立ち上げ、今から3年前に人口の少ない皆野町を選び、畑を借りて2拠点生活をはじめました。そのコミュニティには地元の方との交流も必須と感じ、2年前より「み～なちゃん食堂」の運営を開始しました。

経歴

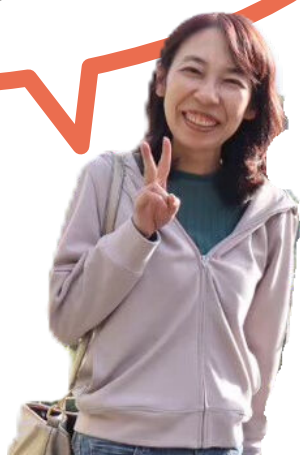
主人・高3娘・中2娘（不登校）の4人家族です。令和5年3月：2拠点生活を始めると同時に「秩父みんなの村」を発足させました。現在メンバー40名、畑カツや情報交換を行っています。令和5年12月：み～なちゃん食堂を開始しました。令和7年4月：協力隊に任命され、まんげつ食堂、大豆と小麦の会等の運営に携わっております。

皆野町の好きな所

町の方々の人柄が好きです。慎重だけでも、顔馴染みになるととても面倒見が良く「手伝います」と言ってくださる方が多いです。おかげさまでみ～なちゃん食堂のボランティアは18名、まんげつ食堂は8名と多くの方にご協力頂いております。

町民に一言

子育て中のママの味方です！
お気軽にご相談ください。





み～なちゃん食堂

月1回日曜日のお昼、総合センターにて持ち帰り
と会食の子ども食堂兼多世代交流食堂を運営して
います。大変好評のため毎回100食以上提供して
おり、現在は「お子様世帯と高齢者を優先」として
います。午前中は他グループとワークショップの
コラボをして子ども達に楽しんでもらう
工夫をしています。



まんげつ食堂

月2回木曜日の夜、リルの家にて運営している上
限20名の地域食堂です。ファミリーや高齢者など
幅広い層にご利用頂いています。メインは秩父市
にある「大衆焼き肉ホルモンながしま」さん、副
菜はボランティアタッフの家庭の味が楽しめま
す。どちらも大変好評です。



活動内容



こどもの居場所通信発行

夏休みなどの長期休みに、町内の子ども向けイ
ベントをまとめたお手紙を配布しています。自ら
が運営を手掛けるものもあり、岩佐隊員と合同で
行う「お菓子作り教室」は大変好評です。宿題会
は十文字大学の学生に協力して頂き開催、継続し
て行いたい事業の一つです。

大豆と小麦の会

町内や近隣の住民の方が中心となり、大豆と小
麦を育て、安心安全なしょうゆやみそ、小麦粉な
どを自分達で作る事を目的として運営しています。
秩父みんなの村など都市部からの参加メンバーが
多く、関係人口の増加に寄与しています。現在運
営部5名、メンバー14名。今後は子どものワークシ
ョップにも発展させたいです。

課題・悩み

ありがたいことに、み～なちゃん食堂は認知度が高
く、多くの方からご協力を頂いております。一方で協力隊
の沼子が運営している事が、まだ十分に知られていないよ
うに感じます。今後は【み～なちゃん食堂＝協力隊が運
営】と知っていただけるよう発信していきたいです。また
日々の活動が多忙なため「不登校親の会」や「誉めあい
お茶会」などの取り組みが後回しになってしまいます。今
後は時間の使い方を工夫し、仕事とプライベートとのメリ
ハリも大切にしていきたいです。

今後の展望・目標

私はもともとボランティア活動が好きなの
こともあり、取り組みがボランティア的な内容
に偏りやすい傾向があります。任期終了後も
活動を継続していくためには、どのように収
益化し、安定した運営につなげていくかが大
きな課題です。今後は、一般社団法人やNPO
法人の立ち上げも視野に入れながら、持続可
能な形で活動を続けられるよう検討してい
きたいと考えています。



なかじま ひとし
中嶋 仁

【移住支援、空き家物件の利活用】

生年月日	1984年9月24日
出身	兵庫県
前職	教習所指導員
愛称	じんちゃん
趣味・特技	キャンプ・ポーカー
マイブーム	酒

お土産屋のみなのもや店主！

皆野町にきた経緯

前地域おこし協力隊で「ぼくらのミナノベース」を開業した松藤さんに出会ったことと皆野町が大きく変わろうとしている予感がきっかけで皆野町に移住。

経歴

大阪府で教習所に15年（技能教習、学科教習、適性検査、高齢者講習、企業講習に従事）、某携帯ショップで5年（店長時には固定回線契約関西7位、MNP販売台数全国1位を獲得）勤務していました。



皆野町の好きな所

皆野町の好きなところは人です。特に私と深く関わってくれている方々は、地域を盛り上げることに様々な角度からチャレンジをしている。町の方々も多くの方々が協力して下さるところに日々やる気をいただいています。





お試し居住住宅の運営・案内

お試し居住住宅「来てみ～な」の管理や利用される方への案内をメインに、皆野町の魅力や情報を伝えています。特に皆野に移り住むイメージが持てるような説明を心がけています。



移住相談、住宅相談

「来てみ～な」を利用された方や皆野町に移住したい方を対象に住居の相談や町の補助金関連の説明、皆野の交通や病院などのインフラ、皆野の四季についてお伝えしております。特に住居の相談が多いです。



活動内容



みなのかみOPEN

皆野町の町民と移住者がつながるコミュニティ拠点を目指す「みなのかみ」をOPEN。観光客をもてなす第一歩としてお土産屋を始めました。今後は「レンタル自転車」や「電動キックボード」など町の周遊や滞在時間を伸ばす取り組みの展開を予定しています。

空き家調査

皆野町に存在する空き家の現状調査をしています。現在皆野町に空き家が約600件。

これらの空き家が活用できないか、活性化起業人福島氏、産業観光課、町民生活課と連携し解決できるよう活動します。

課題・悩み

今後空き家問題の解決を進めていく中で、町民の皆様の理解、町外に出られてしまった方へのアプローチ方法が悩みであり課題でもあります。

また、みなのかみから始まった事業で雇用を生み出していけるようにすることを課題としています。

今後の展望・目標

空き家問題、住居不足問題を解決するため、みなのかみを拠点に不動産に関わる事業ができればいいと考えています。また任期後も町に定住し地域おこしに関われるよう基盤を作っていきたいと考えています。



町民に一言

よそ者ですが、
よそよそしくはやりません。

小さな町で、
大きな可能性に出会う



うだがわ しょう 宇田川 翔

【有害鳥獣被害対策・ジビエ利活用】

生年月日	1985年1月22日
出身	東京都
前職	地域おこし協力隊
愛称	うだ
趣味・特技	楽器演奏
マイブーム	肉体改造

皆野町に来た経緯

大学卒業後、児童館・学童クラブ職員等を勤務。令和4年に東吾妻町（群馬県）に移り役場農林課にて獣害対策（地域おこし協力隊）の業務を3年間担当。任期終了後、皆野町に移り獣害対策・ジビエ利活用担当の協力隊として町民の獣害相談業務や有害鳥獣捕獲・駆除業務、その他地域おこし協力隊として様々な業務を行っています。



経歴

大学卒業 ⇒ 児童館・学童クラブ職員 ⇒ IT企業にてサーバエンジニア ⇒ 再び児童館・学童クラブ職員 ⇒ 群馬県東吾妻町にて獣害対策員(地域おこし協力隊) ⇒ 現在に至る

皆野町の好きな所

町民の方々と共に活動すると、地元の皆さんの「皆野町を盛り上げたい！」という強い思いがひしひしと伝わってきます！





有害鳥獣の捕獲・駆除

皆野町の有害鳥獣(ニホンジカ・イノシシ・アラ
イグマ・ハクビシン・アナグマ、ニホンザル等)の
罠・猟銃による捕獲・駆除を行っています。



ジビエ加工場との連携

駆除したニホンジカを皆野町のジビエ加工場
「桜東風」さんに食肉加工用個体として搬入してい
ます。



活動内容



獣害対策の情報提供

WEBサイト「狩猟普及委員会」を運営。様々な
野生動物の生態や獣害対策の情報を載せ、情報提
供を行っています。

鹿・猪レザークラフト

「ふれあいまつり」や協力隊のイベント「みな
FES」にて猪・鹿を使ったジビエレザークラフト
体験ブースを運営しました。



宇田川隊員の
WEBサイトに
ついて詳しくは
コードより
アクセスください

町民に一言

獣害でお困りのことがあれば
どんなことでもご相談ください！



課題・悩み

- ・地域住民への効果的な獣害対策の情報発信が
手法も含め足りていない。
- ・ジビエ加工場への個体搬入数が少なく、大き
く貢献できていない。
- ・起業することへの漠然とした不安がぬぐい切
れない。

今後の展望・目標

- ・町内の鳥獣による被害状況を幅広く拾い上げ
るための仕組みを強化。
- ・「みなノケモノ瓦版」を定期的に発行し、適
正な獣害対策の情報提供を行い、町民の獣害
対策の認知度を強化。
- ・起業・事業化に向けて、一つ一つの作業を進
めていく。

皆野町のエンターティナー



いわさ
岩佐

みずき
泉希

【観光を通じた地域活性化】

生年月日

2000年1月6日

出身

埼玉県上尾市

前職

広告制作会社
プロデューサー

愛称

ミズキ

趣味・特技

お菓子作り

マイブーム

いちご



皆野町に来た経緯

皆野町に来たきっかけは、2年前に前協力隊の松藤さんがオープンした「ぼくらのミナノベース」にキャンプをしに来たことが始まりです。そこで東隊員や中嶋隊員に出会い、地域おこし協力隊について知りました。その中で、前職の経験を生かして地域に貢献できる内容の募集があり、6月から地域おこし協力隊に就任いたしました。

経歴

高校の卒業と同時に調理師免許を取得いたしました。その後製菓学校で2年勉強をし、料理の撮り方にこだわるようになり、広告制作会社で5年間プロデューサーとして様々な広告を手掛けました。



皆野町の好きな所

皆野町に移住を決めた理由は、人の温かさです。たくさんの人から、関わるたびに温かい言葉をいただけます。移住で不安になっていた気持ちも、気づけば楽しみに変わっていました。あと空が好きです。



SNS企画・動画作成

PIZZA AROMAさんのクラウドファンディングの告知動画や、皆野町で行われるイベントの動画撮影、編集まで担当しています。今後は、皆野町観光協会ホームページの改修(リニューアル)についても担当する予定です。



お菓子教室

子供の長期休みに合わせ、小中学生に向けて沼子隊員と一緒にお菓子教室を開催しています。

自分は製菓学校で学んだ知識を使い講師として参加しています。毎回好評のお声をいただいております。



活動内容



エンゼル焼き復活！

11月2日に行われた皆野横丁において、地域おこし協力隊で昔矢尾さんで販売していたエンゼル焼きを復刻し、出店した際に、リーダーとして動きました。タイムスリップ横丁での課題を踏まえ、無事に400個のエンゼル焼きを販売する事ができました。再販のお声をいただいています。

クラフトフェア秩父

秩父市で開催された「クラフトフェアちちぶ2025」に出店し、皆野ブースのリーダーを担当しました。みなさんのラボにて木材をひらがなに切り抜き販売をする「ひらがなや」を行いました。秩父の方とたくさん話ができ、皆野町のPRをする事ができました。

課題・悩み

皆野町の課題は、PR力だと思います。皆野町には、素敵な観光地やイベントがあります。たくさんの方に「まず知ってもらおう」事が大切だと考えています。自分が得意とするSNS発信・動画制作などを通じてたくさんの方に皆野町を知っていただけるよう、発信を続けたいと思います。

今後の展望・目標

今後は、SNSやイベントを通じて関係人口を増やしていきたいと思います。自分はラジオのパーソナリティをしていますので、様々な媒体で皆野町を知って興味を持っていただき、地域おこし協力隊についても、もっと知りたいです。

町民に一言

みんなの皆野町が盛り上がるようにこれからも活動頑張ります！





ふじの 藤野 まお 磨緒

【地域のデジタル化支援】

生年月日	2001年9月15日
出身	埼玉県深谷市
前職	エンジニア
愛称	ジュディ
趣味・特技	ダンス・ドライブ
マイブーム	ダンス

皆野町に来た経緯

転職を考えて求人を探していた際に、現在の会社の募集を知りました。もともと皆野町にはドライブでよく訪れており、地域の雰囲気や土地柄を自分なりに理解していました。そのため、外側からではなく、地域の一員として皆野町の力になりたいと考え、協力隊に応募することを決めました。



経歴

これまでに、Webライターやジムのインストラクターとしての勤務を経て、エンジニアとして約3年間活動していました。前職では、Webサイトの制作や企業向けの顧客管理システムの開発・運用に携わり、IT分野での実務経験を積みました。

皆野町の好きな所

人の温かさです。地域の方々が「一緒にやろうよ」と自然に巻き込んでくれて、外から来た自分でもすぐに受け入れていただけました。また、秩父音頭まつりに参加した際の一体感や会場の空気は非常に印象深く、地域のつながりの強さを実感いたしました。さらに、皆野町は季節ごとに景色が大きく変わり、どの時期も美しい自然に触れられることが魅力だと感じています。



行政デジタル化支援

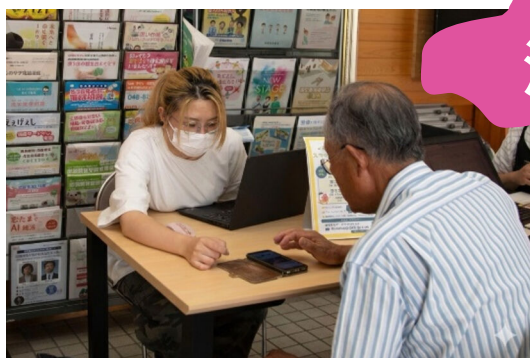
皆野町役場内のITやデジタル化に関する相談、
悩みに対応しました。

【相談件数】19件

【対応件数】11件

○健康こども課：医療機関紹介書類自動作成

○総務課：消防団活動報告の自動集計



活動内容



スマホ・パソコン相談会

令和7年4月から毎月3回、町民を対象に、スマートフォン、パソコンの困りごとに対応する相談会を役場、みなのかち、長生荘で実施。

【相談件数】149件(令和7年4月～12月までの総計)

町民に一言

皆野町を一緒に
盛り上げましょう！



事業者デジタル化支援

皆野町内の事業者・団体からのITやデジタル化に関する相談、悩みに対応しました。

【相談件数】28件

【対応件数】7件

みずほの里、葭田歯科医院、東電機商会、
株式会社ケミサプライ北埼玉、櫻井建築、
(有)大野製作所、下田野あんどんまち保存会

【対応内容】

○LINEビジネスアカウントの作成

○HPの構築修正、バナー・ページ作成

○パソコンの設定の不具合 など

協力隊のPR・活動紹介

活動内容をまとめた記事を作成し、協力隊の取り組みを広く周知しました。協力隊の紹介記事を作成するため、各隊員にインタビューを行い、記事を掲載しました。また、協力隊主催イベントや地域イベント報告なども掲載しています。



協力隊の活動紹介について詳しくは
コードより
アクセスください

課題・悩み

町民のデジタル化への抵抗感が強いことです。町民や事業者の中には、デジタル化を難しく感じたり、既存の方法が安心だと考える方が多く、デジタル化の必要性や利便性が十分に浸透していない状況があります。そのため、デジタル化への理解や前向きな取り組みにつながりにくい点が課題です。

今後の展望・目標

町内の人手不足を解消する「まちの人事部」を作りたいです。人手不足の背景には、そもそも求人が十分に出ていないことも一因だと感じています。そのため、費用の面で求人を出しにくい事業者へ、無料媒体の活用支援や求人掲載の代行を行い、求職者と町内企業をつなぐ仕組みづくりを進めたいと考えています。

皆野をアートでいっぱいに！

ひらの 平野 愛里

【地域のデジタル化支援】

生年月日	1995年4月27日
出身	東京都日野市
前職	システムエンジニア
愛称	ひらりー
趣味・特技	水泳・犬の世話
マイブーム	絵・ディップアート

皆野町にきた経緯

これまでに培ってきたITスキルに加え、個人として関心を持ってきたアート分野を活かした業務に携わることができる転職先を探していた時期に「デジタルラボминаの」の求人を知りました。もともと自然が好きで地方移住にも興味を持っていたことから、その内容に惹かれ、地域おこし協力隊に応募し着任することになりました。



経歴

当初はIT企業に入社、大手小売企業のシステム保守・開発を担当、その後、令和7年に株式会社デジタルラボминаに入社。

皆野町の好きな所

自然を身近に感じながら暮らせるところが、皆野町の好きな所です。夜空を見上げるときれいな星が見えるのも魅力の一つで、町の中にキャンプ場があるほど自然が豊かで、空気が澄んでいるため星空がよく見えます。日々の暮らしの中でこうした景色に触れられることは心地よく、目や気持ちのリフレッシュにもつながっていると感じています。



行政デジタル化支援

皆野町役場内のITやデジタル化に関する相談、悩みに対応しました。

【相談件数】19件

【対応件数】11件

- 健康こども課：医療機関紹介書類自動作成
- 総務課：消防団活動報告の自動集計



活動内容



スマホ・パソコン相談会

令和7年4月から毎月3回、町民を対象に、スマートフォン、パソコンの困りごとに対応する相談会を役場、みなのかち、長生荘で実施。

【相談件数】149件(令和7年4月～12月までの総計)



町民に一言

ITに関するお悩みなんでもどうぞ！

デジタルアートサークル

デジタル機器を使ったアート体験の授業を、各小学校全校生徒に対して実施。

また、町内イベントへの体験ブースも出展するなどして、約480人を動員。サークル活動開始に向けた普及活動を実施。

課題・悩み

課題として、地域事業者とつながる機会が限られていることです。商工会には加入していますが、日常的な情報交換や相談の機会は多くなく、規模の大きな案件や継続的な支援につながるケースが少ないのが現状です。また、事業者側のデジタル活用に対する課題やニーズを十分に把握できておらず、具体的な提案や支援内容が限定的になっているという悩みもあります。

今後の展望・目標

今後は、事業者や行政が取り組んでいる事業内容や課題を理解するため、地域の取り組みや制度について学ぶことを重視していきます。加えて、事業者との接点を増やすため、交流の場への積極的な参加、情報発信などを通じて、関係を作り、実情に即したデジタル支援の提案ができる体制を整えていきます。「困ったらまず相談できる存在」として地域に信頼されるデジタル人材となることを目指します。

おいかわ ひろと 及川 博渡

【地域のデジタル化支援】

生年月日	2000年3月7日
出身	岩手県
前職	大学院生
愛称	ひろてぃー
趣味・特技	読書・ゲーム
マイブーム	皆野町の食べ処巡り

期待の新人エンジニア

皆野町に来た経緯

株式会社デジタルラボホールディングスに勤めている友人の紹介で皆野町をデジタル化する取り組みについて知りました。学生時代から地域課題の解決案を考えてきましたが、現場で形にしてみたいという思いがあり皆野町にきました。地域おこし協力隊、そしてデジタルラボминаの一員として、これまで学んできた専門知識を活かしながら皆野町のデジタル化を力強く支えています。

経歴

- 令和4年 岩手県立大学
ソフトウェア情報学部 卒業
- 令和4年 岩手県立大学
ソフトウェア情報学研究科
博士前期課程 入学
- 令和7年 岩手県立大学
ソフトウェア情報学研究科
博士前期課程 中途退学
- 令和8年 株式会社デジタルラボминаの 入社

協力隊としての意気込み

地域おこし協力隊、そしてデジタルラボминаの一員として、まずは「デジタルのちょっとした困りごと」を気軽に相談できる存在になりたいです。私自身もこの町での暮らしを学びながら、共に歩む「伴走者」としてお手伝いします。焦らず一つずつ、現場の声を形にしていければと思います。

町民に一言

デジタルで分からないことがあれば、一緒に解決しましょう



よつこ 四井 綾子

【地域のデジタル化支援】

生年月日	1991年12月19日
出身	埼玉県本庄市
前職	技術職
愛称	アンジェラ
趣味・特技	ぬい活・お酒
マイブーム	新たな日本酒との ペアリング探し

地域産業の潤滑油になりたーい！

皆野町にきた経緯

業務上、お客様の顔が見えづらく、上手くやりがいを昇華できない日々の中、ライフワークを重視し地方に根差した仕事がしたいと転職を決意。職場の問題解決手法や社内DXの知識を活かせればと、デジタルラボみなのに令和8年1月に入社。

経歴

東京農業大学 生物生産学部 食品香粧学科卒業。三井金属鉱業株式会社へ技術派遣として入社し、銅箔事業部 開発部 評価・解析Grに所属。開発品の評価・解析や新規特許取得支援などを通常業務として行い、部内のDX・システム担当も兼任。

町民に一言

人・地域に寄り添った考え方で
デジタルの面で地域貢献
していきます！

協力隊としての意気込み

自ら、人・地域の立場に立ち、寄り添った考え方で皆さんのお役に立てればと思っています。「困り事が小さいのでは」「自分しか困っていないし」となる前に、まずはお気軽にお声がけください！新人だからこそその視点も活かし、当たり前になってしまった無理・無駄な業務も一緒に解決できればと思っています。



台湾から皆野へ！三児の母！

おおた えみ
太田 絵美

【地域のデジタル化支援】

生年月日	1983年11月8日
出身	熊本県
前職	結婚式コーディネート
愛称	エミリー
趣味・特技	海外旅行・台湾華語
マイブーム	ヤオコーのこってり ジューシー餃子9個入



皆野町にきた経緯

沖縄や台湾でゼロからブライダル事業を立ち上げ、異文化生活を楽しんできましたが、子どもの成長を見守る自分自身の現状にも目を向けるようになり、働き方や生き方について考え直すようになりました。その中でデジラボの理念や取り組みに共感し、皆野町へ移りました。

経歴

九州・熊本県出身。漠然とあった海外に出てみたいという思いで台湾へ。外国でお金を稼ぐために取得した着付け師の資格を活かし出張着付けサービスを開始したところ、予想以上の需要を受け、国際カップルや日本人カップル向けにブライダルサービスを展開。三児の母。

協力隊としての意気込み

まずは皆野町や他の協力隊の皆さんの活動を知ることから始めたいと思います。親子移住なので、子どもたちの暮らしからも皆野町への想いが生まれるのではないかと感じています。よろしくお願いします。

町民に一言

「#みんなで皆野」を意識してがんばります！





DIGITAL LAB

株式会社デジタルラボみなの

「デジタル化支援担当の
隊員が所属している
デジタルラボみなのって
何だろう？」にお答え！

地域のお困り事をデジタルで支援、一緒に実践

ご挨拶

デジタルラボみなののは、埼玉県皆野町に拠点を置く地域密着型企业です。

私たちは、町民の暮らしを便利にするデジタルサービスの提供や、地元企業の業務効率化を支援するIT技術の導入を行ってきました。

“ITスキルを持つ地域おこし協力隊”や地域の人材と連携しながら、観光・販路拡大・まちづくりなど、さまざまな地域課題にも取り組んでいます。

会社基本情報

設立	令和6年10月11日
所在地	埼玉県秩父郡皆野町大字大淵284 みののLABO内
代表者	斉藤 隆秀
従業員数	5名(令和8年2月現在)
メール	minano@dlab-jp.com
Web	https://www.dlab-jp.com/minano



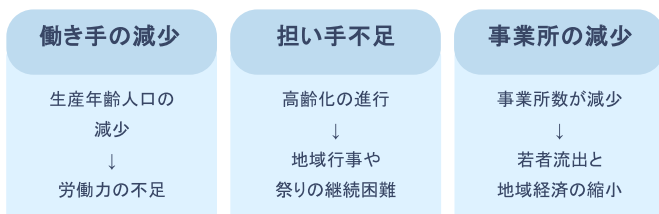
<HP>



事業内容

- ・行政・中小企業向けIT／DX支援
- ・Web広告・SNSプロモーション支援
- ・業務効率化（Excel・ツール導入など）
- ・地域貢献／デジタル教育事業

ビジョン



都市部からヒト・モノ・カネを循環し
地域を活性化する取り組みが必要



デジタルラボによる課題解決

無償DX支援：地域企業の業務効率化と労働力不足への対応・まちの活性化
都市部からの地域おこし協力隊移住：移住増・定住促進、地域活動の担い手確保
域外からのIT案件受注による新産業創出：稼げる人材の輩出・若者流出抑制
地域に仕事と人が溢れる好循環のきっかけを作ること町で活性化を目指す



協力隊の活動

協力隊が町の中で実施している活動やイベントのご紹介です。既に参加された方も、まだ参加されたことがない方も、今後の参加をお待ちしています！

皆野町地域おこし協力隊プレゼンツ／ vol.5 sun

みなFES 11/30

「あなたと作る、みなFES」 11:00～17:00
in おまつり広場 (皆野町役場駐車場)

おうちで眠っている
“まだまだ使えるモノ”を、
次の人へ巡らせてみませんか？



新エリア！
のくくるくま

催し物

コリマ出店者募集中！
出店料：無料！
募集数：10ブース限定（抽選）
出品できるもの
・家庭で不要になった日用品・衣類・おもちゃなど
・食品・飲料の販売はできません
募集締切：11月10日（月）
当選した方には14日までご連絡いたします

お問い合わせ
皆野町地域おこし協力隊
Instagram TEL
@minano_kyouryokudai 0494-26-6310

お申し込みフォームはこちら

みなFES

町内外に地域おこし協力隊の活動を知ってもらい、町民と地域おこし協力隊が気軽に交流できる場を目指して行っているイベント。令和6年11月からスタート。

令和7年2月、6月、8月、11月とこれまで計5回開催されている。

これまで、「カキ小屋」「水かけ祭り」「フリーマーケット」「プロジェクションマッピング」など、様々なコンテンツを展開し、昨年11月に開催した「みなFES vol.5」では約400人が来場。



みな の サ ミ ッ ト MINANO SUMMIT

MINANO SUMMITは地域おこし協力隊が立ち上げた新たな会議型交流会。皆野で活躍している事業者の方々、役場職員や皆野の高校生、町と連携しているものづくり大学や世界一周大学、秩父地域全域からも人が集まる。始めの一時間は皆野町をよくするための議題について議論し、交流会に移る。令和6年5月から毎月実施しており、今では30名弱の人たちがみなものち2階に集まっている。

同会議のコンセプトは「やりたい事を発信し、仲間を集め、行動に起こせる場。」そしてルールは2つ。

1. "BE FLAT"

役場、事業者、協力隊、高校生。世代、立場は抜きにしてフラットに話をしよう。

2. "WELCOME STUPID IDEA"

バカな意見、発言、大歓迎！

杵を蹴っ飛ばしてどんどん意見交換しよう。





MINANO_KYOURYOKUTAI



餅つき大会

地域おこし協力隊主催の餅つき大会！
 令和7年1月11日に第一回目、令和8年1月12日に第二回目を開催。

バス待ちの登山客や地域の皆様につきたてのお餅を振る舞った。「よいしょー！」の掛け声とともにつかれる餅。来場者からも「つきたてのお餅なんて久しぶりに食べた！」「子供達に餅つきを経験させることができた」など大いに賑わった。



みんなの部活

「みんなの部活」とは大人も子供も入れる学校外の部活プラットフォーム。埼玉県秩父郡皆野町にあるみなものんち2Fに拠点を置いています。どなたでもご参加可能！

過去にはNHK「午後LIVE ニュースーン」にて取組が紹介されたことも！

【部活一例】

ギター部、初心者俳句部、ウミガメのスープ部、ポーカー部、片付け部、アーシング部など



HISTORY OF CHIKIOKO

皆 野 町 協 力 隊 活 動 の 軌 跡

令和元年

第1世代 地域おこし協力隊 着任

＜ミッション：移住定住＞

楠橋英俊
姉川拓生
タペノワ・グルデン
バイセンバイ・ゼレ

令和3年

第2世代 地域おこし協力隊 着任

＜ミッション：移住定住、起業＞

奥村純一
松藤裕也

令和6年4月

第3世代 地域おこし協力隊 着任

＜ミッション：移住定住、起業＞

中嶋仁
東廉太郎

令和6年11月

第1回 みなFES開催

第1回みなFES開催
カキ小屋、ミニミニステージ、
小さな蚤の市などを開催し、
大いに盛り上がった

令和7年

第4世代 地域おこし協力隊 着任

＜ミッション：IT支援、地域活性化、
こどもの居場所づくり、
有害鳥獣対策、観光事業、
生きがいWell being＞

藤野磨緒 平野愛里
出沼惟代 宇佐川拓郎
沼子晃子 宇田川翔
岩佐泉希

令和8年

第5世代 地域おこし協力隊 着任

＜ミッション：IT支援＞

及川博渡
四井綾子
太田絵美





皆野町

発行：皆野町役場 企画財政課

〒369-1492 皆野町大字皆野 1420 番地 1

☎0494-26-7334（直通）